

世界の照明デザイナー面出薫氏率いる

照明探偵団

自分だけの“金魚ねぶた提灯(ちょうちん)”をつくって街を歩こう!

キッズライト・オデッセイ

8
August

9(土) 種差海岸
21(木) 南部町
22(金) 八戸市
23(土) 弘前市

主催:



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

照明探偵団の

※参加者には全て貸し出しします。

貸出 九つ道具



▲夜道を照らす
金魚ねぶた提灯



分光器 ▲



▲ライトアップニンジャ用
投光器



▲光の実験ツール



▲ペンとメモ帳
+ 首かけライト



▲記録用タブレット
+ プリンタ



▲地図 + 方位磁石



▲照度・色温度計



▲レーザー距離計

君たちは知っているかな？

●夜のまちには、昼間とはちがう“ひみつ”がたくさんかくれているんだ。家の窓からこぼれるあかり
古い建物を照らすやさしい光、道の片すみでそっと輝くランプ……。そんな光たちは、まるでまちの心のように
夜になると静かに話しかけてくる。「**照明探偵団 キッズライト・オデッセイ**」は、そんな夜の

まちの光のひみつを探しに出かける冒険。でも、君たちが探すのは**光**だけじゃない。
団長の**面出薫**さんがいつも言っているんだ——「**照明デザインの原点は
暗闇(くらやみ)や陰翳(いんえい)であり、そして自然の光に学ぶこと**」だって。

●つまり、まっ暗な場所や やわらかな影(かげ)のうつろい、そして太陽や火がつくり出す光と
影のバランスの中に照明デザインの大事なヒントがかくれているんだ。だからこの冒険は
「光を見る目」と「影に気づく心」の両方を育てる旅。さあ、まずは**自分だけの**

“金魚ねぶた提灯(ちょうちん)”をつくろう。

金魚ねぶたに好きな絵を描いて、LEDライトを中に入れたら

世界にひとつだけの小さなあかりの完成！ そのあかりは、これから君の「探偵ランタン」になるんだ。



●夜になると、君たちはその金魚ねぶた提灯を手し、照明探偵団の一員としてまちに出発する。

舞台は**南部・弘前・八戸**の3つのまち。それぞれにちがった文化や光の色、ともし方がある。

津軽藩と南部藩——歴史のちがいが、まちの夜の表情にもあらわれているんだ。

探偵団の大きなミッションのひとつは光のあたっていない場所や

影がどう動いているかにも目を向けること。

それはきっと君にとっての新しい“見方”になるはず。

●でも、ただ歩くだけじゃない。

面出薫さんが率いる照明探偵団と一緒に

君たちはまちのあかりを観察し記録する光の探偵に

なるんだ。建物の壁を照らす光はどんな色？

お店の看板はどう光ってる？ 道に落ちる影はどんな形？

普段は気づかない光と影の“物語”を見つけてみよう。

●そして、探偵団の特別なミッションがもう一つある。

その名も「**ライトアップニンジャ！**」

小さな照明器具を使って、さりげなくまちの中に

光を仕掛けてみる遊び。ふだんは何でもない壁や石垣、

木の影が、一瞬だけ劇場の舞台のように変わる。その変化を

そっと楽しみながら、すぐにライトを消せば、また暗闇が戻ってくる。

「光と闇は両方そろってはじめて美しい」。

この遊びを体験すれば、きっとこの言葉の意味が少しわかるように

なるよ。夜のまちには、いろんなあかりがある。

でも、それだけじゃなくて、あえて暗くしている場所や

静かに包まれた暗がりにも、まちの大切な表情がひそんでいることに

気づいてみてほしい。●君の金魚ねぶた提灯が、そんな場所にそっと光をそえるとき

そこに新しい景色が生まれるんだ。

さあ準備はできた？ **光と影、昼の自然光と夜の灯り**

いろんな光を感じとる探偵の旅に出かけよう。

金魚ねぶた提灯を片手に、君たちがまだ知らない夜のまちの物語が、きっと君を待っているよ。





面出 薫（めんで・かおる）先生って どんな人？

●今回、照明探偵団をひっぱってくれるのが、面出 薫（めんで・かおる）先生。
日本だけじゃなくて、世界中の建物やまちの光を
デザインしてきた、すごい先生なんだよ。

面出先生は東京生まれ。子どものころから夜のまちや
自然の光と影を見るのが大好きだったんだって。

●大人になってからは、「どうしたら光がもっときれいに見えるか」

「暗がりや陰翳（いんえい）をどう大切にできるのか」をずっと考えてきたんだ。

でもね、面出先生が教えてくれるのは「光っているところ」だけじゃない。太陽や月、ろうそくやたき火――

「自然がつくる光や暗がりから学ぶこと」も、とっても大切にしているんだよ。

光でその場所の気持ちや思い出をやさしくうかび上がらせることを大切にしている。

そこにこそ本当の美しさがあるって先生は教えてくれるんだ。

●いまは世界で有名な照明デザイナーとして、**東京駅、京都迎賓館**（げいひんかん）

六本木ヒルズ、シンガポールの大きな公園（**ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ**）など
みんなが知っている場所の光もデザインしているよ。

光でその場所の気持ちや思い出を、やさしく浮かび上がらせることを大切にしているんだ。

●そしてなにより、面出先生は「みんなも照明探偵になってほしい」と思っているんだよ。

だから「照明探偵団」というチームを作って世界中のまちの“よい光”と

“困った光”をいっしょに探す活動をしているよ。

●今回のキッズライト・オデッセイではそんな面出先生と本物の探偵団の一員として活動できるチャンス！

まちの中の光と影にどんなヒミツがかくれているのか、ぜひ先生といっしょに発見しに行こう！





じゃあ、照明探偵団って どんな団体なの？

◎ 照明探偵団は、面出先生が団長になって作った光の探偵チーム。

世界中のまちを舞台に「光」と「影」

そして「暗がり」の**ヒミツ**をさがしているんだ！

◎ 団員たちはカメラやスケッチブック、ノートやライトを持って、世界中のまちを歩きながら

「この光はどこから来てるの？」「なぜこの場所は気持ちいいのかな？」

「この影はどうしてこんなにきれいなんだろう？」って、観察して記録して、考えるんだ。

◎ 探しているのは、ただ明るい光じゃない。暗がりや陰翳（いんえい）の美しさにもじっくり目を向けて、

「光と影は、どちらかだけじゃなく、いっしょにあってこそ美しい」

ということを大切にしているよ。

◎ これまでに **東京、ニューヨーク、香港、シンガポール、パリ、ストックホルム**… など

世界中のたくさんのまちで探偵団の活動をしてきたんだよ。

世界には今もたくさんの団員がいて、光のこと、闇のことを日々探っているんだ。

◎ でもね、今回のキッズライト・オデッセイでは、君たちもその **“キッズ団員”** になれる！

金魚ねぶた提灯を手にまちを歩き、光と影のヒミツを見つけたとき――

もう君は立派な照明探偵団の仲間のひとりだよ。

◎ **世界中の探偵団の仲間たちと同じ目で**

まちを見て、感じて、考えてみよう！

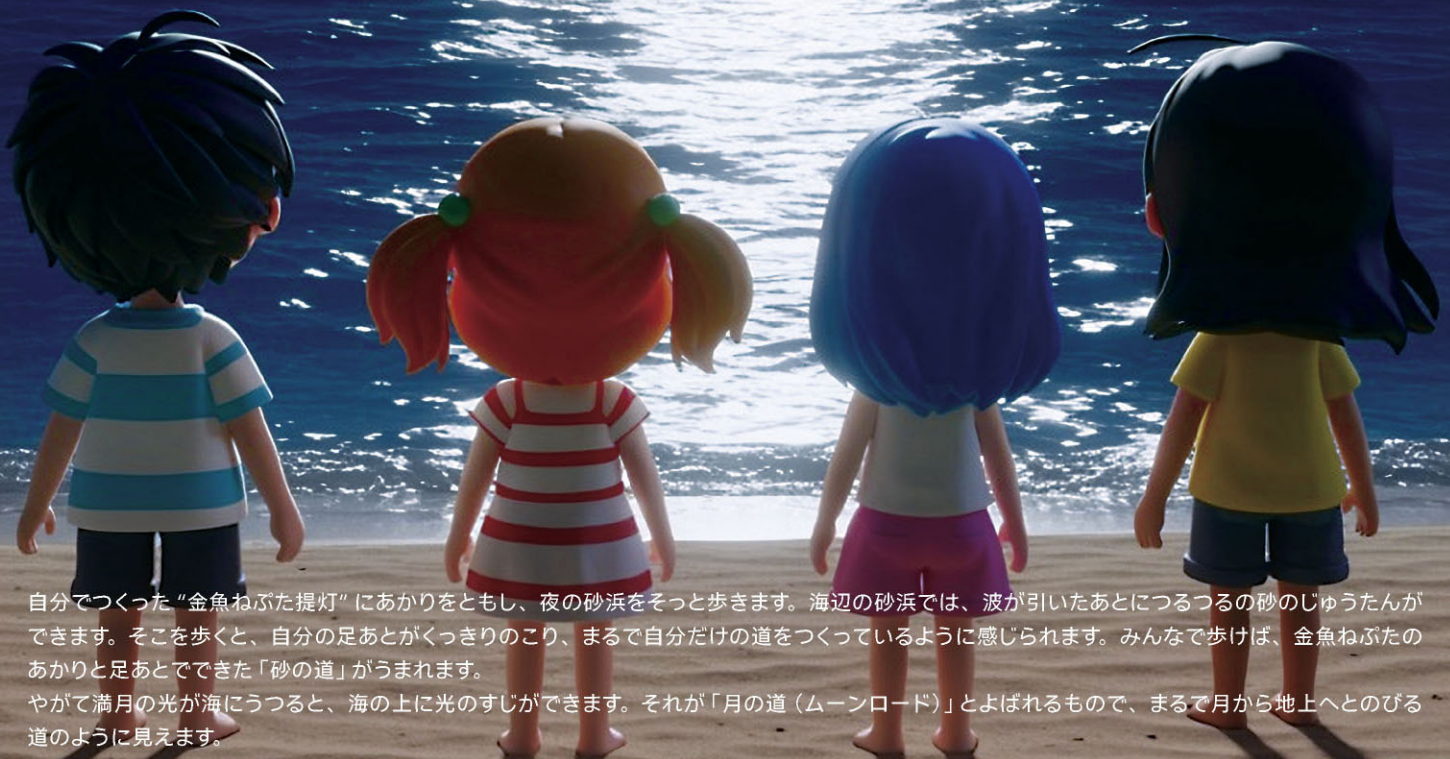
きっと今まで気づかなかった、新しい世界の見方がきっと見えてくるよ。



『原神』の尺八パートを担当した
琴古流大師範・寄田真見乃による
古伝尺八のコンサートもあるよ！

8.9

金魚ねぶたの月道に出会う夜 種差海岸



自分でつくった“金魚ねぶた提灯”にあかりをともし、夜の砂浜をそっと歩きます。海辺の砂浜では、波が引いたあとにつるつるの砂のじゅうたんができます。そこを歩くと、自分の足あとがくっきりのこり、まるで自分だけの道をつくっているように感じられます。みんなで歩けば、金魚ねぶたのあかりと足あとでできた「砂の道」がうまれます。

やがて満月の光が海にうつると、海の上に光のすじができます。それが「月の道（ムーンロード）」とよばれるもので、まるで月から地上へと伸びる道のように見えます。

この日の特別な体験は、空と海、光と足あとが重なりあって生まれる、“ふたつの道”を歩くこと。金魚ねぶたのあかりがつくる砂の道と、満月が海に描く月の道。自分の歩いた道が、そっと夜の景色にのこる——そんなひとときを、心で感じてみてください。

金魚ねぶた

自分だけの「金魚ねぶた提灯」をつくって街を歩こう！

「きりぎりす」

絵つけ 体験



自分の手で、金魚に命をふきこもう！金魚ねぶた絵付け体験

この体験では、金魚ねぶたの仕上げとなる「絵付け（えつけ）」を行います。

すでに紙が貼られた金魚ねぶたに、顔や模様、色をつけて、

自分だけの作品に仕上げていく楽しい作業です。

8 August キッズライト・オデッセイ プログラム

※本ワークショップでは、ユースリーダー（高校・大学生）が小中学生と共に活動し、作品づくりや発表をあたかくサポートします。制作中の対話や自由なおしゃべりの時間を通じて、年齢を超えた学び合いと交流が生まれるよう、工夫された交流の仕掛けが用意されています。ユースリーダーは子どもの想いを引き出しながら、自らも地域の未来を照らす存在へと育っていきます。

9 (土) 15:30 (受付 15:00)
種差海岸 **金魚ねぶた絵付け体験 お楽しみイベント** (南浜公民館) **18:00** **金魚ねぶた提灯行列 砂の道歩き体験** (種差海岸：館ノ下砂浜) **18:45** **月の道 観望体験** (嶋大明神前海岸 → 南浜公民館) **20:30**

21 (木) 15:15 (受付 14:45)
南部町 **金魚ねぶた絵付け体験** (南部町ふれあい交流プラザ) **16:45** **地元産ももを使った パフェ作り体験** (南部どき) **18:00** **照明探偵団 世界の照明デザイナーと街歩き** (三戸駅周辺 → ふれあい交流プラザ) **20:00**

22 (金) 15:30 (受付 15:00)
八戸市 **金魚ねぶた絵付け体験** (はっち：シアター1) **17:00** **伝統工芸にひそむ ポケモンのひみつ** (八戸市美術館) **18:15** **照明探偵団 世界の照明デザイナーと街歩き** (美術館 → おがみ神社大樹 → はっち) **20:15**
 ※大人の観覧料は別途必要(1,100円)

23 (土) 15:30 (受付 15:00)
弘前市 **金魚ねぶた絵付け体験** (弘前市民会館：大会議室) **17:00** **弘前の文化遺産と出会う レトロ建築バスツアー** (弘前市内バスツアー) **19:00** **照明探偵団 世界の照明デザイナーと街歩き** (弘前中央駅 → 土手町 → 弘前駅) (バス) **20:45**

※金魚ねぶた絵付けは**年長以上**、街歩きは**小学3年生以上**を対象としています。

※雨天時は、街歩きに代えて「光と闇の実験室」を開催します。

※内容は予告なく変更になることがあります。最新の情報は公式ホームページをご覧ください。



各回には、『原神』の尺八パートを担当した
 琴古流大師範・寄田真見乃による
 古伝尺八のミニコンサートもあるよ!!



▼ 事前申し込み



【対象】 年長・小学生・中学生（保護者の方も一緒に）

【募集人数(各回)】 子ども：45名 / 大人：20名
 (事前申し込み者優先、当日は先着順になります)

【参加費】 無料

【材料費(税込)】 2,500円 ※当日お支払いください
 ※材料費は金魚ねぶた + 絵付け絵の具材料費になります。

【当日の撮影にご協力をお願いいたします】

イベントの様子を記録として撮影させていただきます。
 撮影した写真や映像は、WebサイトやSNSへの掲載や
 各機関への報告書などに使用させていただく
 場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※顔が掲載されることに不都合がある方は
 個別にご連絡いただきますようお願いいたします。

〈主催・お問合せ〉 一般社団法人 TOCOL <https://www.tocol.net/> E-mail donna@tocol.net

〈後援〉 青森県／青森県教育委員会／八戸市／八戸市教育委員会／南部町／南部町教育委員会／
 デーリー東北新聞社／東奥日報社／弘前大学／八戸工業大学

〈協賛〉 株式会社トイ 愛瀬詩塾(えみしじゅく)

〈協力〉 照明探偵団 <https://shomei-tanteidan.org/>